

# Space Designer検定試験

-3次元CAD/BIMプレゼンテーション検定-

新制度を2023年度より開始いたします！

- Space Designer Expert (SDE)
- Space Designer Standard (SDS)
- Space Designer Basic (SDB)

---

主催：一般社団法人コンピュータ教育振興協会（ACSP）  
Space Designer検定試験委員会

# はじめに

本検定は、建築・インテリア・リフォーム・リノベーション業界に対応できる質の高い人材育成を目的とし、建築図面を理解でき、3次元CAD/BIMやCGソフト、プレゼンテーションソフトなどを利用して「リアルなCGインテリアパースと説得力のある提案書」を作成できる人材を「Space Designer」として位置づけ、評価・認定する試験制度です。働き方改革や人材不足が問題化している建築・インテリア業界において、新たな人材モデルとして、本検定合格者の活躍の場が広がりがつつあります。今回試験制度全体を見直すとともに、あらたに「認定校受験」制度を設け、より幅広く「Space Designer」の育成に取り組んでまいります。

※試験問題は、日本インテリア学会が提唱する「インテリア製図通則」に準拠しています。

# Space Designer検定試験概要

- 名称：Space Designer（スペースデザイナー）検定試験
  - 試験方法：課題提出方式
  - 受験形式：一般受験、認定校受験
  - 試験実施日 一般受験：年1回開催  
認定校受験：随時実施（認定校のスケジュールで随時実施可）
  - 受験資格 一般受験：特にありません。  
認定校受験：認定校に所属する学生・社会人等
  - 使用ソフト：建築系・インテリア系3次元CAD/BIMなどCGパースが作成できるソフトと、パワーポイントなど提案書が作成できるソフト
  - 受験料（税込）：Expert：16,500円（認定校受験の場合は11,000円）  
Standard：8,800円 Basic：4,400円
- ※認定校受験の場合は、認定校が受験料（認定料）をとりまとめて協会へ支払います。

# Space Designer検定試験（一般受験）

Space Designer（スペースデザイナー）検定試験の「一般受験」は、年に1度の一斉実施の試験を受験いただく方法です。受験資格はなく、広く一般の方にチャレンジいただける試験制度です。

- 試験期間：Space Designer Expert（SDE）：10日間（基礎課題+応用課題） ※旧1級  
Space Designer Standard（SDS）：4日間（基礎課題のみ） ※旧2級
- 試験内容：協会が提供する試験問題をに対して、上記期間内に課題を作成して指定の方法で課題を提出いただきます。Standardは「基礎課題」としてパース画4点を、Expertは基礎課題に加え、「応用課題」としてパース画1点+空間コンセプトをまとめた提案書を提出いただきます。

※一般受験の場合、Expert受験者で基礎課題が合格ラインに達していない場合は不合格となります。また、Expert受験者で基礎課題が合格ラインに達し、応用課題が不合格の場合は、Standard合格者として認定いたします。

※Standardは一般受験のみとなります。

※Expert認定者は「Expert認定会場」の講師として活躍いただけます。

※Expert認定者の「表彰制度」は、一般受験者のみが対象となります。

# Space Designer検定試験（認定校受験）

Space Designer（スペースデザイナー）検定試験の「認定校受験」は、協会の指定する「認定校基準」に則り認定された「認定校」（教育機関や企業）を対象に実施される認定制度です。「認定校」に所属する方を対象に、協会から提供される指定課題に取り組んでいただき、認定校の講師が評価を行います。認定校のスケジュールに合わせて実施いただけますので、自由度の高い学習と資格取得が得られます。

- 対象資格：Space Designer Expert（SDE） ※Expert認定校のみで実施  
Space Designer Basic（SDB） ※Basic認定校のみで実施
- 試験内容：協会が提供する問題に対して指定課題を作成し、指定講師が採点のうえ、採点結果とデータを提出いただきます。

※Standardは一般受験のみとなります。

※Basicは認定会場受験のみとなります。

※Expert認定者の「表彰制度」は、一般受験者のみが対象となります。

※Expert認定者は「Expert認定会場」の講師として活躍いただけます。

※認定校受験の認定者には、「認定証書」が無償で発行されます。

# 認定校制度について

「認定校受験」は、次の2種類の認定校において実施いただけます。

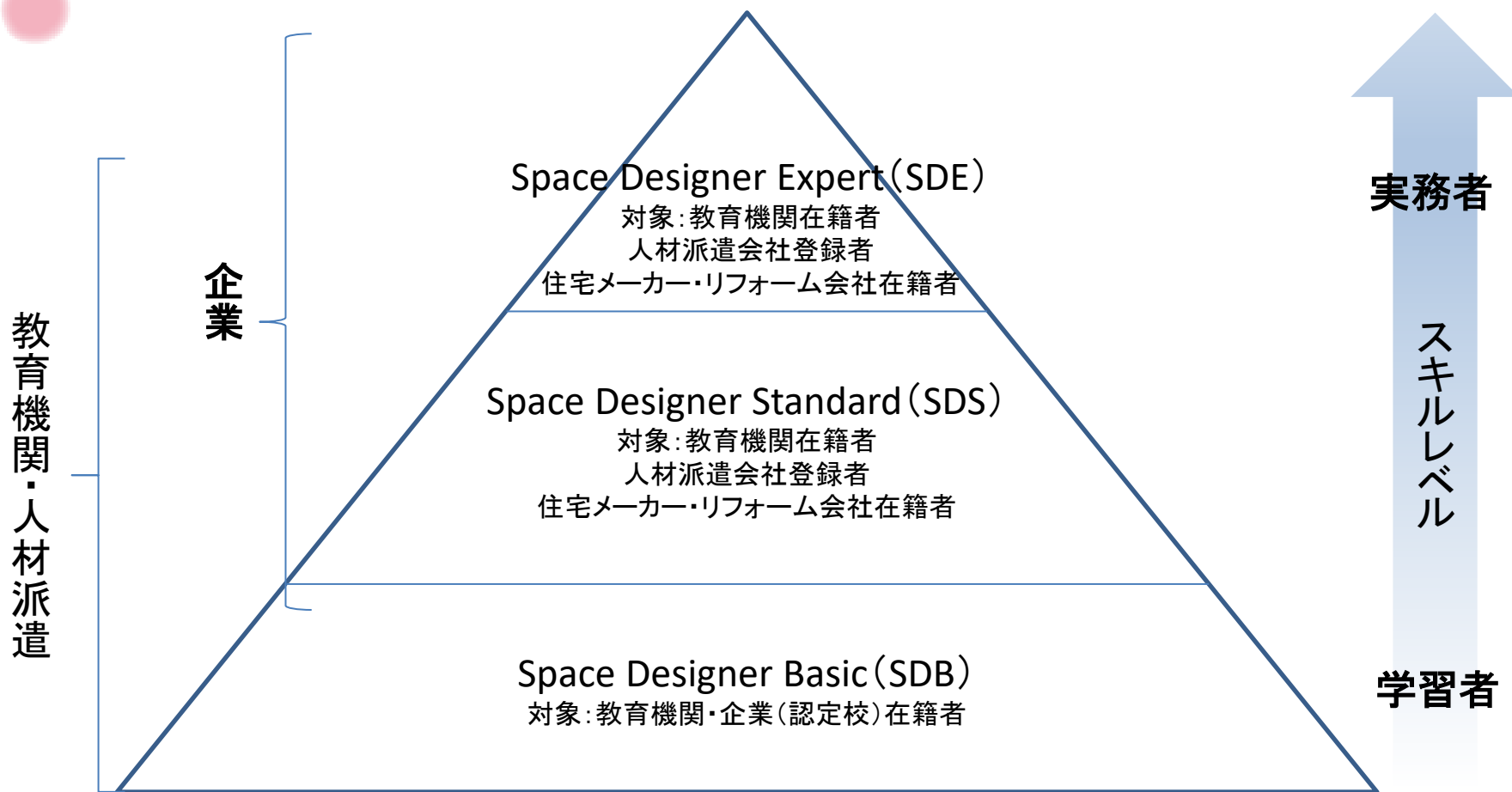
「**Expert認定校**」：Space Designer検定試験の1級またはExpertに合格した方を講師として、協会指定の課題に取り組むことが条件です。

「**Basic認定校**」：協会指定の課題に取り組むことが条件です。

いずれの認定校においても、作成した課題を講師が自ら採点を行い（協会指定の評価基準に基づく）、合格者の個人情報と作成した課題を協会へ送り、協会が評価結果や課題を確認して最終的な認定を行います。送付された課題が認定基準に達していないと協会が判断した場合は、再度課題の提出を行うこともできます。

認定校を希望する教育機関/企業は、同封の申請書類を提出し、協会の審査を受けることで登録できます。

# Space Designer検定試験 資格体系





# Space Designer認定者に求められるスキル①

## Space Designer Expert認定者

一般受験、またはExpert認定校において、

- 新築住宅建築およびリノベーション、リフォーム後の空間をリアルに伝えるCGパースの作成ができる（VRへの対応）。
- インテリアコンセプト、イメージから適切なアイテムをセレクトできる。
- 提案をより効果的に伝える、創造力豊かでセンスの良い提案書が作成できる。

求められるスキル：建築図面の知識、インテリアの知識、CGパース作成スキル、提案書作成スキル





# Space Designer認定者に求められるスキル②

## Space Designer Standard認定者

一般受験において、

- 図面や設計図書を正確に読み取り3次元で表現できる。
- 提供された3次元データやテクスチャを正しく読み込み、配置できる。
- 指定された光源やアングル、形式で正しくデータが作成できる。

求められるスキル：建築図面の知識、インテリアの知識、CGパース作成スキル



# Space Designer認定者に求められるスキル③

## Space Designer Basic認定者

Basic認定校において、

- 図面や設計図書を正確に読み取り3次元で表現できる。
- 提供された3次元データやテクスチャを正しく読み込み、配置できる。
- 指定された光源やアングル、形式で正しくデータが作成できる。
- 提案をより効果的に伝える、創造力豊かでセンスの良い提案書が作成できる。

求められるスキル：建築図面の知識、インテリアの知識、CGパース作成スキル、提案書作成スキル



# Space Designer検定試験の想定受験者

～「学び」の確認として、「プロ」のスキルアップとして～

## 「学び」の確認・証明として・・・（認定校受験）

建築・インテリア・リフォーム・リノベーション業界への就職を目指し、認定校（協会指定の課題パッケージを利用）の指導者のもと、建築物の内装の設計に必要な知識（製図、インテリア）と技能（ソフトウェアを利用したCGパース作成）・表現力を学習している方。

- 専門学校生
- 大学生・短大生・高校生
- 資格スクール生
- 派遣会社

目標

Expert認定！（Expert認定校）  
Basic認定！（Basic認定校）

## 「プロ」のスキルアップ・新人教育の一環として・・・（一般受験）

建築・インテリア・リフォーム・リノベーションを生業とし、自身ならびに社員の提案力の強化とそれに伴う事業の競争力向上を目指す方。

- インテリアコーディネーター
- インテリアプランナー
- インテリアデザイナー
- 建築士
- その他リフォーム・リノベーション業界にお勤めの方

目標

Expert合格！  
Standard合格！

# Space Designer検定試験 評価基準

## Expertの評価基準（応用課題）

Expertでは、Standardの評価に加え、より現実空間に近いCGパース表現ができているか、インテリアイメージの演出も含め魅力的な空間を表現できているか、また説得力のある提案書が作成できているかを、下記の8つのポイントで評価します。

- ① 内装材や家具の質感が現実的な表現となっているか
- ② 照明器具の光の透過やテクスチャが現実的な表現であるか。ウィンドウトリートメントが正しく表現されているか
- ③ 問題の指定条件にある家族構成・ライフスタイル、およびインテリアスタイルに合致したインテリアエレメントであるか
- ④ インテリアスタイルの統一ができているか
- ⑤ 表現するインテリアスタイルとして適切なカラー・フォントで構成されているか
- ⑥ 提案書として必要なパース画像を補完するデザインコンセプト、イメージ画像等が貼付され、かつその内容が指定のインテリアスタイルに合致したものであるか
- ⑦ バランスのよい魅力的な提案書であるか
- ⑧ 総合（細部まで作り込まれ、課題のテーマに沿ってまとめられているか）

# Space Designer検定試験 評価基準

## Standardの評価基準（基礎課題）

Standardでは、図面等で指定された項目を正しく読み取り、パース画像を仕上げられているかを、下記の8つのポイントで評価します。

- ① 配布図面から正しく空間形状が読み取れているか
- ② エlementが正しく作成、配置されているか
- ③ 3Dデータの読込が適切に行われているか
- ④ 内装仕上げ材が正しく表現されているか
- ⑤ 造作家具、置き家具、照明などの素材が正しく表現されているか
- ⑥ 光源およびアングルの設定が正しく行われているか
- ⑦ 指定された形式で提出している
- ⑧ 総合（全体の色合いなどバランスがよいか）



# Space Designer検定試験 評価基準

## Basicの評価基準

Basicでは、図面等で指定された項目を正しく読み取り、現実空間に近いCGパース表現ができて  
いるか、インテリアイメージの演出も含め魅力的な空間を表現できているか、説得力のある提案  
書が作成できているかを、認定校の指導者が下記の16のポイントで評価します。

- ① 配布図面から正しく空間形状が読み取れているか
- ② エレメントが正しく作成、配置されているか
- ③ 3Dデータの読み込みが適切に行われているか
- ④ 内装仕上げ材が正しく表現されているか
- ⑤ 造作家具、置き家具、照明などの素材が正しく表現されているか
- ⑥ 光源およびアングルの設定が正しく行われているか
- ⑦ 指定された形式で提出している
- ⑧ 基礎課題総合（全体の色合いなどバランスがよいか）
- ⑨ 内装材や家具の質感が現実的な表現となっているか
- ⑩ 照明器具の光の透過やテクスチャが現実的な表現であるか。ウィンドウトリートメントが正しく表現されているか
- ⑪ 問題の指定条件にある家族構成・ライフスタイル、およびインテリアスタイルに合致したインテリアエレメントであるか
- ⑫ インテリアスタイルの統一ができているか
- ⑬ 表現するインテリアスタイルとして適切なカラー・フォントで構成されているか
- ⑭ 提案書として必要なパース画像を補完するデザインコンセプト、イメージ画像等が貼付され、かつその内容が指定のインテリアスタイルに合致したものであるか
- ⑮ バランスのよい魅力的な提案書であるか
- ⑯ 応用課題総合（細部まで作り込まれ、課題のテーマに沿ってまとめられているか）

# Space Designer検定試験 表彰制度

## - 合格者のメリット -

### 検定とコンテストの2つを併せ持つ新しい形

一般受験のExpert認定作品の中から優秀な作品を、金・銀・銅賞として表彰。1年間Space Designer検定試験公式Webサイトやパンフレットで紹介します。

#### Precious Family Space

ご主人と奥様が仕事で、またお子さんは習字や読書の時間定員がしたい日々を送られています。そのため、このように、子供が家族全員の一層まる空間での、3Dコンテラクトな空間になります。そこで、奥様の時間を大切にできる空間を提案しました。ラックをすっきりとした印象を醸成したスタイルの1LDK空間になっています。また、イメージに近づかない3D人物や家具の一部に素材を使用することによって驚かします。また、奥様のための空間に仕上げました。




個人でWebサイトでの記事やお問い合わせの依頼に、3Dコンテラクトな空間に近づけることができます。Webサイトでの記事やお問い合わせの依頼に、3Dコンテラクトな空間に近づけることができます。

**color plan & effect**

	無難な白は空間に清潔感と広さを与えます。		清潔感のある空間を演出します。
	黒は空間に深みと高級感を与えます。		洗練された印象を演出します。

**display**  
3Dコンテラクトな空間には、必ずしも写真やイラストがなくても構いません。また、奥様の写真やイラストがなくても構いません。

**dining**  
家族の時間や3Dコンテラクトな空間に近づけることができます。また、奥様の時間を大切にできる空間を提案しました。

#### 透明感のあるモダンな空間

ご主人と奥様、両方お仕事。家事も忙しい3Dコンテラクトな空間を提案しました。3Dコンテラクトな空間に近づけることができます。また、奥様の時間を大切にできる空間を提案しました。また、奥様の時間を大切にできる空間を提案しました。




個人でWebサイトでの記事やお問い合わせの依頼に、3Dコンテラクトな空間に近づけることができます。Webサイトでの記事やお問い合わせの依頼に、3Dコンテラクトな空間に近づけることができます。

**color effect**

	白は空間に清潔感と広さを与えます。また、奥様の時間を大切にできる空間を提案しました。
	清潔感のある空間を演出します。
	黒は空間に深みと高級感を与えます。
	洗練された印象を演出します。

**display**  
3Dコンテラクトな空間には、必ずしも写真やイラストがなくても構いません。また、奥様の写真やイラストがなくても構いません。

**dining**  
家族の時間や3Dコンテラクトな空間に近づけることができます。また、奥様の時間を大切にできる空間を提案しました。